

カナンの園 後援会だより

★カナンの園見学会ご報告

カナンの園後援会実務委員会代表 坂水かよ

9月29日(土)盛岡のヒソプ工房発のバスで総勢26名が奥中山へと向かいました。現地では、三愛学舎をスタートに事業所施設を見学し、目指すは新しくなった“小さき群の里”事業所。木の温もりのあるホールでの説明に参加者の皆さんからは「多くの方々の祈りによって建てられたことが伝わってきました」「素晴らしい建物に感動しました」との感想をいただきました。



そして、お待ちかねの小さき群の里広場での「ピクニック昼食会」。焼きたてのピザやじゃがバター、自分たちで焼く‘巻き巻きパン’、と盛りだくさんの昼食会でした。ピザをほおぼりながら、「これはいつまでも忘れられない味だね!」の声、みんなでおいしい食卓を囲み会話が弾みました。



現地スタッフの皆様の最高のおもてなしと笑顔で、心も身体も満たされたひと時に感謝の1日でした。

★小さき群の里事業所落成感謝祭ご報告

皆さまのお祈りとご支援によって新しい建物が完成した小さき群の里事業所。皆さまに建物のご披露を兼ねて、かつての‘カナン祭’の賑わいを再現したい、と実施したのが「小さき群の里落成感謝祭」です。9月8日、あいにくの天候でしたが、多くの方々にご来場いただき、盛大に開催することができました。他の事業所や奥中山地域の方々にご来店をさせていただいたり、ステージに出演いただいたり…。秋の一日を沢山の方々の笑顔と共に、大いに楽しみました。



小さき群の里 特製ソーセージ

「菓子さんさ」の皆さんと共に



建物内部にもぎわいました

現場では 今

学校法人カナン学園三愛学舎 (シリーズ3) “小さな学び舎の風景” から～その2～

三愛学舎は、高等部本科3年、高等部専攻科2年の連続した5年間の教育課程を編成しています。本校の目指す青年期教育の本質は“「自分くずし」から「自分づくり」”です。青年期の多感な時期に、最も大切な“仲間関係”を通して「新たな自分」を発見します。その特徴的な学習が専攻科の『ゼミ』です。テーマに沿った小グループでの学習が進められます。教師は進行役に徹し、生徒同士が意見を交わし合います。学習のねらいは、“自信をもって自分の思いを表現すること”にあります。生徒は、相手の考えを理解することによって新しい考え方にも気づきます。対話による授業は生徒一人ひとりの内面の成熟と相互作用によって、新たな「自分づくり」へと繋がります。また、各自が興味・関心のあるテーマについて自己研究に取り組みます。「もっと学びたい」という気持ちを育てることも、卒業後の社会生活に向けて大切なことだと考えています。



(三愛学舎校長 伊藤 和彦)

No. 39

発行 2018年11月25日

編集 カナンの園後援会

実務委員会

〒028-5133 岩手県二戸郡

一戸町中山字大塚 4-7

TEL 0195-36-1026

FAX 0195-36-1027

<http://canaan-jp.net/>

honbu@canaan-jp.net

郵便振替 02330-6-6631

加入者名 カナンの園



12月の風物詩「カナンの園後援会街頭募金」

街頭募金の季節

12月になると、街はクリスマス一色に彩られますが、盛岡の市民の皆さんにとっては、カナンの園後援会主催の街頭募金も12月の風物詩の一つと言われます。今年もボーイ・ガールスカウトの皆さんや、学生さんたちのボランティアもいただきながら実施することにしています。

12月2日、9日、16日の日曜日と22日の土曜日の午後1時30分から3時30分まで、肴町商店街、大通り2丁目交差点、クロステラス前、開運橋等で上記の写真のようなゼッケンをつけて募金を呼びかけています。どうぞご協力をお願いします!

<募金のお願い>

「障がい者と言われる人たちの中心として、すべての人が互いに尊重しつつ助け合って生きていく社会の実現を!」と願うカナンの園が、より良い運営を行うためには皆さまのお力が必要です。

ぜひ、お一人でも多くの方々からの寄付をお願いいたします。

上記振替口座に、また機関誌同封の振込用紙を用いてください。「法人活動のため」「〇〇のため」等と用途をご記入頂くとそのように用いさせていただきます。どうぞご協力をお願いいたします。

